

達人リコメンドの四国～龍馬パスポート

1. 室戸の民宿「徳増」

ゴールデンウィークは、毎年、四国に里帰りしますが、そろそろ行き先のネタが尽きて、今年は昨年の逆打ち(お遍路用語で、1番札所から順番に参拝するのを順打ち、88番から戻る様にして参拝するのを逆打ちと言います。)で、室戸、馬路、高知の順に宿泊して、周辺を巡ることとしましたが、地元情報頼みです。



初日の宿泊先は、室戸市佐喜浜の民宿「徳増」・・・今年は、金目鯛がパワーアップ。大きいし、脂が乗ってて煮付け最高です。カツオ、ヒラマサ、アジのお刺身、流れ子、特注のカツオのたたき、店主いわく「眼前の大きな生け簀、別名・太平洋」から取り出した海のもの、地産地消の野菜やお米を使って調理しております。



こちらのお宿は、お遍路さん、サーファー、ツーリング、ジオパーク研究者など、太平洋に向かっているだけあって、大きく広く皆さんに心を開いています。そんなお宿の観光パンフレットコーナーで見つけたのが、龍馬パスポートの案内。



「高知県内の主な観光施設などで提示するだけで特典が受けられる、高知観光に断然おトクなアイテムです。」よくよく見るとステージアップ形式のスタンプラリーで、観光施設を利用したり、お土産を買ったり、宿泊、体験プログラムまでがスタンプの対象になって、3個集めて青パスポート貰って、6個集めて赤パスポートと交換、8個集めてブロンズに、シルバー、ゴールドと条件が厳しくなります。スタンプを集めると共に昇格して行くという日本人好みのシステムで、交換時に賞品が貰えて、ゴールドをクリアすれば殿堂入りの名誉も与えられます。

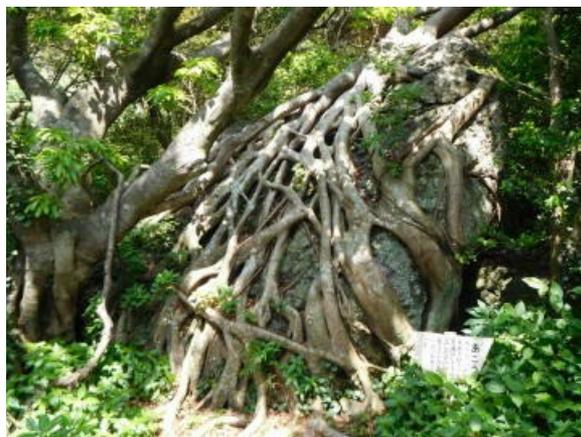
よっしゃ、高知観光は、名誉を目指して、徳増より龍馬パスポートでスタートだ。



2. 室戸岬～安田～馬路

室戸ジオパークセンターにて青パスポート交付。周辺の特産物や文化、自然について知識を吸収してからジオパーク歩き。ダービタイト層の地形と岩と共存する植物のアコウを見学してから、安田町に向かいます。





安田町では、魚梁瀬森林鉄道の遺構の、エヤ隧道、バンダ島隧道、オオムカエ隧道、明神口橋を過去の軌道に沿って辿ります。バンダ島からオオムカエまでの道のりは、荒れ放題。行政の力で、安田川左岸側の道路を改修とまで言いませんが、もう少し整理整頓して下さい。



続いて、ごっくんの故郷、馬路村に向かいます。まずは、総合案内所の「まかいちよって家」で、村役場の場所を教えてください。



3. 馬路村役場

実は私、馬路村特別村民です。これは、申込みさえすれば誰でも認定されて、特別村民証が送付されます。特典は、「馬路村に帰ってきた時は、村長室で村長と一緒にごっくん馬路村を飲みながら写真が撮れます。」冗談みたいな本当の話で、いざ、役場を訪問。こちら、このホームページから、2015年5月のお代官様のコピーを持参。



上治村長は、公務でお忙しい中、丁寧かつにこやかに歓迎してくれました。こちらも、3回目の訪問で、ここが気に入った理由、村内観光実績、千本山登山で苦勞したこと、温泉施設の良い理由、今回の旅程などの話をして、コピーを手渡しました。人口1000人以下の小さな村で、村内のほとんどを巡っているので、目的地の一つとして、朝日出山の大杉見学をお勧めいただきました。



ごっくん馬路村を片手に、村長と写真撮影。Face book・ホームページなどでの公開オッケーを確認。ここで撮影した写真は、村へのメッセージを書いてアルバムに大切に保管されます。(村長不在の時は、写真パネルの横で撮影。ご本人と写真に納まる確率は4割から5割で、この日は2組目だそうです。)村長に感謝すると共に、ますます馬路村が好きになりました。



さて、村長お勧めの観光地へは、総合案内所で地図を貰うべしって事で「まかいちよって家」へ。朝日出山の大杉って言うと、すぐに地図が出てきました。素晴らしいサービスだと感心していたら「村

長から電話入りました。」



道のりと運転の注意事項を聞いて、いざ大杉へ。道中、落石も多く道も狭いし、山深く道路をカモシカが横切るし、地図を片手に走ると、登山口の小さな看板発見と同時に後ろから軽自動車が追いかけてきたので、路肩にこちらの車を寄せると、さっきの案内所のお姉さんが、道に迷ったら大変だからと、登山口の看板と注意事項を書いたコピーを持って来てくれました。お姉さんの努力に報いるためにも、大杉まで到達するぞと山登り。途中、小さな蛙さんやお花の歓迎を受けて、村長リコメンドの大杉に到達。屋久島にも負けない一本杉がそびえ立ちます。マイナスイオンを身体中に浴びて、朝日出山の大杉から、馬路温泉に戻ります。



少し白濁してヌルヌル感が効き目のバロメーターの馬路温泉は、美人の湯。ここに2泊。青パスポートを出すと、スタンプ4個とウエルカムドリンクのごっくん馬路村。しかも、スタンプ6個になったから、赤パスポート交換の権利をゲットです。

これより、馬路村でまったり過ごすことにしました。



3. 魚梁瀬～安田～馬路

まずは魚梁瀬の森林鉄道。「まかいちよって家」でお土産買って、安田で海が見えるカフェにてランチ。まちなみ交流館で展示と和風建築を見て、高知で一番有名な清酒、土佐鶴の本社発見、ホテルの里でほーたる来い。天候が崩れてきたから、ごっくん工場を見学して、温泉に戻ります。地産地消のお食事に満足して、美人の湯にドボンで、おやすみなさい。



天気が回復した翌朝、安田川を散歩してからチェックアウト。たまたま、朝風呂を日課とする村長と出会って、感謝の気持ちを伝えて、高知に移動します。





4. 安芸～赤岡～高知

安芸の観光情報センターで、赤パスポートに交換。スタンプが押せる観光地を探します。

舞台や芸能が好きな私が、いつも行きたいと言っても却下され続けた場所が、赤岡町の絵金蔵。芝居の屏風絵とか、春画の魅力が理解できないようで、避けられてきましたが、スタンプラリーの一環として、入場できることになりました。隠微な雰囲気を楽しんで大満足のあと、受付の人から、赤岡の魅力を教えてもらいました。



赤岡と言えば、酒の飲み比べの「どろめ祭り」しかイメージが無いのですが、土佐の和菓子の老舗・西川屋と、和風だしで中華麺を食べる「中日そば」の「とさを」という食堂を紹介いただき、中日そば&シラス丼のランチからの、和菓子&抹茶のデザートタイムで午後のひと時をエンジョイしました。

少し残念な話ですが、毎年4月下旬に開催する「どろめ祭り」は、熊本の震災の関係で今年は自粛したそうです。



続いて高知。スタンプが押せる場所ってことで、自由民権記念館を訪問。ビジネスホテルにチェックインして、スタンプを貰えば8個揃ったので、駅前の「とさてらす」でブロンズパスポートに交換。「おめでとうございます。」と言って手渡されたから、それって、名誉なことでしょうね？

夜は、大黒堂で塩タタキ。安定した味でビールが進む、すすむ。





5. 高知～本山～大豊

最終日は、はりまや橋から、横山隆一記念まんが館で、フクちゃんをご対面。

本山に移動して、大原富枝文学館で「婉という女」について学んで、大豊の樹齢3000年の日本一の大杉と美空ひばりさんの歌碑を見学して、スタンプラリーを打ち上げました。



今年の旅は、お気に入りの場所をもう一度、お礼参りのつもりが、龍馬パスポートのおかげで、普段行かない場所を巡ることになりました。観光大国、高知県の策略にはまってしまったのかも知れませんが、視野が広がり、違った方向への興味が沸くという結果が産出しました。



スタンプが貰えるのは、高知城や龍河洞、龍馬記念館、アンパンマンミュージアム、四万十川の川下りからホエールウォッチングまで、誰もが知っている観光地から、マイナーな施設まで多種多様ですから、ぜひとも、「龍馬パスポート」を持って高知県を楽しんで下さい。そして、「龍馬パスポート」を達人リコメンドの必需品として勝手に認定するとともに、自らもゴールド目指して頑張ろうかと思っています。





平成28年5月9日記(旅は5月1日～5日)

Top
トップ
↑

Back
戻る

[達人リコメンドの四国～見残し・見直し・見落とし](#)